

3月25日 修了式 式辞

皆さんの修了に当たり、校長先生からは、少し難しいけれど、大事なことをお話します。皆さんなら、きっと、理解をしてくれると思ってお話をします。

先日の朝会の時に、ウクライナとロシアの間で起きている戦争のことをお話しました。1ヶ月以上たった今でも、とても悲しいことに、まだ、収束していません。

戦争は、国同士の喧嘩です。その喧嘩に巻き込まれ、ウクライナの国の中では、多くの他店のが壊され、多くのかげがえのない命がなくなってしまうとのことです。本当に胸が苦しくなるお話です。

瀬戸内寂聴さんという、小説家で尼さん（女性のお坊さん）が、以前このようなことを言っていました。

「人間は幸せになるために生まれてきたのです。誰の命だって『人を傷つけろ』『人を殺せ』と言われてこの世に送り出されてきたものではありません。」

そうなのです。私たち「人」は、幸せになるために生まれてきたのです。

ですから自分として幸せであろう、幸せに生きようとしなければならぬし、また人を幸せにしながら生きなければならないのです。

自分を必要以上にだめだと思ったり、うまくいかなかったことをいつまでもくよくよ悩んでいたり、自分から危険なこと、辛さ・苦しさしか生まないことに飛び込んで行ったり、

また、人を困らせたり、傷つけたり、いじめたり、馬鹿にしたり、おとしめたり。

そのようにしてしまうことは、生まれてきたそもそもの理由を損なってしまっていることだと知らなくてはなりません。

自分が幸せならば、その幸せが心からあふれたならば、人は他の人に幸せを分けてあげられます。だから、幸せであろうと思うことが、なにより本当に大事なのだと思います。

勿論、今ウクライナとロシアの間で起きている戦争のように、自分たちだけではどうにもならない悲しいことや、辛いことがあります。生きている中では、どうしようもないことがあるのです。

でもその中でも、自分にできることが何かしらあるはずで、その何かを探ることが「人生」です。

4月から新しい学年になります。新たな気持ちをもって、自分と友達の幸せのために、それぞれが努めてください。

最後に、皆さんの住むこの日本は豊かです。安全です。なぜなら、もう77年間もどこの国とも喧嘩をしていないからです。そのような国は、世界の中で、なかなかないのです。そういう素晴らしい国に、私たちは住んでいます。そのことを是非知って、この国を誇りにしてほしいと思っています。

皆さんのこの1年の成長を喜び、頑張りを称え、そして新しい学年での頑張りを願って、式辞といたします。